



愛西市 議会だより

AISAI CITY
ASSEMBLY

No.32
2013.5.1



観光船と船頭平閘門(あいさい写真クラブ提供)

人々が和み、
心豊かに暮らすまち

3月定例会 審議結果と議員の賛否 ……	2
特集 平成25年度予算の特徴 ……	3
議案説明・質疑・討論 ……	4
ここが聞きたい 一般質問 ……	8
「議会だよりについて語ろう会」報告 ……	17
議会活動日誌 ……	18

発行／愛西市議会
編集／議会広報特別委員会

〒496-8555
愛知県愛西市稲葉町米野308番地
TEL(0567)26-8111 FAX(0567)26-7141

平成25年3月定例会 議案審議の結果と議員の賛否

○：賛成 ×：反対

議案	審議結果	平成会					愛西クラブ				新生クラブ				日本共産党 愛西市議団	公明党 あいさい	あいさい 市民の声	信の実会	悠志会					
		岩間泰彦	鬼頭勝治	大宮吉満	八木一	大野則男	山岡幹雄	大島功	鷲野聡明	加賀博	堀田清	島田浩	中村文子	近藤健一	日永貴章	大島一郎	真野和久	加藤敏彦	下村一郎	榎本雅夫	竹村仁司	吉川三津子	石崎たか子	前田美美子
行政財産の目的外使用に係る使用料条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
指定地域密着型サービス事業者等の指定等に関する基準を定める条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
新型インフルエンザ等対策本部条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市道の構造の技術的基準を定める条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市道に設ける道路標識の寸法を定める条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
移動等円滑化のために必要な市道の構造に関する基準を定める条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
営駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例等の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
デイサービスセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
都市公園条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
下水道条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
道路占用料条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
西保地区防災コミュニティセンターの指定管理者の指定	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市道路線の認定	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
防災情報通信ネットワーク整備工事契約の締結	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度愛西市一般会計補正予算(第5号)	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○	○	○
平成24年度愛西市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度愛西市介護保険特別会計補正予算(第3号)	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度愛西市農業集落排水事業等特別会計補正予算(第2号)	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度愛西市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度愛西市一般会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○	○	○
平成25年度愛西市土地取得特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度愛西市国民健康保険特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○	○	○
平成25年度愛西市後期高齢者医療特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○	○	○
平成25年度愛西市介護保険特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○	○	○
平成25年度愛西市農業集落排水事業等特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度愛西市公共下水道事業特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○	○	○
平成25年度愛西市水道事業会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○	○	○

※議は議長で採決に加わっておりません。

市長選を控え、 25年度は骨格予算！

25年度予算に盛り込まれた主な事業費

- 統合庁舎の整備事業 **3.8億円**
建設・改修工事は、平成25年度から27年度までの3カ年継続事業で工事費として約39億円で進めるものです。
- 勝幡駅前の整備 **3.5億円**
駅南口改札の設置および南ロータリー整備などの費用です。
- 児童クラブ室の増設 **2.6億円**
平成26年度から、6年生までの学童クラブを実施するための費用です。
- 道路の拡幅や歩道整備 **2.5億円**
- 小学校の窓に飛散防止フィルム貼り **1.9億円**
災害時に児童の安全を守ります。

大きな金額、上位5事業をあげました。

一般会計当初予算は、**209億円**
新市長に判断をゆだねた額は、

保留事業費の約8億円

4月28日の市長選を控え、25年度の予算は、経常費や継続事業などの骨格予算で、八木市長は議会に提案しました。大きな金額のうち、主な事業は左記のとおりです。更に議員から提案された「安全な通学路事業」や「新電力導入事業」も盛り込まれました。また、実施するか否かの判断が持ち越された約8億円の事業は、新市長の判断にゆだねられます。

昨年度予算と比べて 膨らむ福祉の費用

《予算総額》

平成24年度予算	平成25年度予算(骨格)
212.0億円	209.2億円

《骨格予算でありながら、昨年より増えた費用(性質別)》

	平成24年度	平成25年度	増加した額
扶助費 (福祉の費用)	4,369	4,546	177
公債費 (借金の返済)	1,859	1,995	136
人件費	3,804	3,874	70

(百万円)

平成24年度当初予算と、平成25年度当初(骨格)予算と比較をしてみました。骨格予算でありながら、昨年度と比べ2億8千万円の減額にとどまっています。原因としては、介護・医療・障がい者事業や生活保護などをはじめとした福祉に関する費用が増えていることや、借金の返済額が増えていることが考えられます。

用語解説

骨格予算とは、新年度に市長選挙などを控えた自治体が、最低限必要な経費を盛り込んで編成する予算です。

平成25年度予算を問う

〔一般会計予算〕

209億2千100万円

備工事の総額は。また、用地買収は。

〔総務〕

質疑

新電力の調達先の変更によってどれくらい電気料は減額となるのか。また、該当の33施設にはどのような施設があるか。

答弁

3力年の継続工事で約9千400万円かかる。用地買収は平成25年度に計画している。

質疑

地方交付税が51億円計上されているが、7年後に一本算定となると、どれくらい減額になるか。

答弁

現時点での算定方式が変わらないと仮定すると、約15〜20億円の減額となる見込み。

質疑

統合庁舎のための駐車場整

質疑

平成24年度末の一般会計の基金はどれくらいになるか。

答弁

平成23年度末で約142億8千万円であり、24年度に約14億円を取り崩すので、約128億円となる見込み。

〔文教・福祉〕

質疑

児童クラブ室増設規模の考え方は。

答弁

定員超え、待機児童数、高学年の希望者数、今後の出生等の見通しを考慮して、必要最小限の児童クラブ室の規模を決めた。

質疑

各児童クラブ室の増設基準はあるか。

答弁

1人当たり面積がおおむね1・65㎡となっている。

質疑

総合斎苑の式場の利用状況は。

答弁

平成24年2月末で、火葬が783件。その内、市内は571件あり、式場の利用は125件だった。利用率は約22%となっている。

質疑

学校給食のメニューが悪くなったと聞くが、変更があったのか。

答弁

給食物資の値上げがあり、また、消費税等の値上げもあるのでメニューに苦慮している。

〔経済・建設〕

質疑

勤労者住宅資金融資の貸付は、どのように規則を改正するのか。

答弁

近隣市等の状況を見ながら、東海労働金庫と協議して、検討していきたい。

質疑

新規就農総合支援事業の就農者への給付は。

答弁

1人当たり150万円の6人分を予算化した。

質疑

勝幡駅周辺損失補償費とは、何か。

答弁

工作物の補償であり、ガス管や水道管などにあたる。

〔特別会計予算〕

■土地取得特別会計予算

3億200万円

質疑

土地取得特別会計の数年間の動きは。

答弁

先行取得する目的の特別会計であるが、物件がなかったため、動きはない。

質疑

今後土地取得特別会計を続けるのか。

答弁

普通財産の処分等も含めて検討していきたい。

■国民健康保険特別会計予算

事業勘定

76億7千569万6千円

直営診療施設勘定

1億5千461万4千円

質疑

特定健康診査の目標受診率の設定は。

答弁

平成25年が45%、26年が

49%、27年が53%、28年が57%、29年が60%となっている。

■後期高齢者医療特別会計予算

予算

6億7千632万8千円

質疑

公共下水道工事の進め方は。

答弁

5〜7年の事業認可をとって、下流から順次整備していく。

■介護保険特別会計予算

保険事業勘定

40億5千423万1千円

サービス事業勘定

4千45万円

質疑

施設入所の待機者数は。

答弁

市内4つの特別養護老人施設で、平成24年8月末現在で延べ399人の待機者がいる。

■農業集落排水事業等特別会計予算

8億6千518万4千円

質疑

収納状況はどうなっているか。

答弁

平成24年度から佐屋地区と立田地区が直営となり、徐々に収納率も上がっている。

■公共下水道事業特別会計予算

17億5千20万2千円

質疑

公共下水道工事の進め方は。

答弁

5〜7年の事業認可をとって、下流から順次整備していく。

■水道事業会計予算

7億3千5万9千円

質疑

収益的収入及び支出において、費用が収入を大きく上回っている。今後の収入確保及び費用の削減の考え方は。

答弁

収入の確保のためには料金の改定が必要。改定の時期には内部でよく検討したい。費用の削減の面では、コストの縮減に努めたい。県営水道事業団へも水の購入代金の値下げで協力をお願いしたい。

平成25年度一般会計予算

賛成VS反対

賛成

新たな事業として、児童発達支援事業利用者負担助成事業、安全な通学路事業、経費削減対策としての新電力導入、児童クラブ室増設事業、小学校校舎飛散防止フィルム貼りつけ事業がある。

反対

反対する一番の理由は、統合庁舎事業費。統合には賛成の立場だが、過大で不透明な部分が多く、合併特別期間後の地方交付税減額への準備が一向にされていないので賛成できない。

反対

統合庁舎整備事業に関しては、平成25年度から27年度までの継続事業の中、3つの支所の整備の中でも、常に経費削減を念頭に置くことが市民に伝えることであると肝に銘じてほしい。

反対

児童クラブの拡大は、大歓迎だが、規模を小さくする努力と昼間の施設を使わない時間の有効利用が課題だ。

年少扶養控除の廃止による子育て世代の負担増に対して、医療費の助成拡大が進まないなど市民生活の支援政策が不十分。統合庁舎建設問題は、合併時の約束をたがえるものであり、市民に対して十分な説明を行わなかったことは大きな問題。今後、合併特別の交付税措置が減少する中で、50億円を超える市庁舎統合建設は、立ちどまって見直すことを求める。

条例制定

庁舎・支所の整備とあわせ条例の規定に基づいて整理をしていく。

行政財産の目的外使用に係る使用料条例の制定

地方自治法の規定に基づき行政財産の目的外使用に係る使用料について必要な事項を定めるものです。

質疑

この時期に制定する理由は。また、電柱や郵便ポスト以外の予定は。

答弁

昨年、公共用地等の取り扱い基本方針を定め、平成25年4月1日から整理する方針を出していた。これら以外には、例えば土地改良事務所、シルバー人材センター、社会福祉協議会、商工会館などがある。

愛西市市道の構造の技術的基準を定める条例

「地域の自主性及び自主性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律（地方分権一括法）」による道路法の改正に伴い、条例を定めるものです。

質疑

地方分権一括法の関連でいくつもの議案が出されている。この議案もそうだが、条例の制定の目的は。

また、これらによって市にどのような変化があるのか。仕事量や費用はどうか。

答弁

一括法による道路法の一部

改正により、条例で定めることとされた。県道の技術的基準を定める条例に準じて定める。

道路法に基づき構造等を定めているので、変化はない。仕事量、費用は変わらない。

条例改正

市営駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正

市有地の有効活用を図るため、新たな駐車場を設置することにより改正するものです。

質疑

勝幡駐車場の用地は、以前どのような土地だったか。

答弁

旧佐織町時代の町営住宅の土地の一画であった。

特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

該当する職員に支給する報酬などの区分・額を明確にするため定めるものです。

質疑

報酬及び費用弁償の区分を明確にする目的とは何か。

答弁

条例で規定している付属機関は報酬で、要綱等で規定しているものは、報償費で支払うことに区別した。

質疑

臨時または非常勤の顧問、調査員、嘱託員及びこれらの

者に準ずる者とは。

答弁

現在15人で、運転手1人、地域安全相談員1人、防災活動専門員1人。徴収嘱託員5人、母子自立支援員1人、家庭相談員2人、生活保護就労支援員1人、建設課技術指導員1人、適応指導員2人。

指定管理の指定

西保地区防災コミュニティセンター

西保地区防災コミュニティセンター運営協議会が指定管理者になりました。

質疑

佐織地域の防災コミュニティ

選挙

ティセンターの指定管理が12月議会に上程されたが、西保地区はなぜ12月議会に上程できなかつたか。

【答 弁】

12月議会の設置条例の一部改正で西保地区を加えた。そのため、今議会になった。

【答 弁】

備品関係、引越し費用、防災関係、電算関係、防災備蓄倉庫などが精査中であるので、総金額はわからない。積算が完了した時点で報告したい。

【質 疑】

保育料保護者負担金が減額になっているが、どこから補てんされるか。

【答 弁】

国庫支出金で補てんされる。

■ 一般会計補正予算

補正額△4億7千600万2千円
総額 221億1千52万1千円

【質 疑】

統合庁舎整備関係の補正予算が計上されているが、総額でどれくらいになるか。

【答 弁】

平成23年度で、集団のBCGが99.7%、集団のポリオが97.5%、三種混合が92%、二種混合が90.8%、麻しん

風しんで、1期が89.7%、2期が96.1%、3期が92.2%、4期が92.5%、高齢者インフルエンザが54.2%。

【質 疑】

道路維持費の路面性状調査委託料は、どのような調査をするのか。

【答 弁】

道路整備補助事業にのせるための調査で、道路面のひび割れ、ワダチなど、道路の状態を調査する。

■ 国民健康保険特別会計予算

補正額 2千791万6千円
総額 81億8千219万5千円

【事業勘定】

■ 介護保険特別会計補正予算

算

【保険事業勘定】

補正額 7千959万8千円
総額 39億2千600万4千円

■ 農業集落排水事業等特別会計補正予算

補正額 △115万6千円
総額 8億4千61万5千円

■ 公共下水道事業特別会計補正予算

補正額 △1千185万2千円
総額 16億5千516万9千円

【質 疑】

公共下水道の接続率は。

【答 弁】

平成25年2月末現在で、3千165世帯中、1千669世帯が接続し、接続率は52.73%となっている。

■ 海部地区急病診療所組合 議会議員

吉川三津子 議員
前田美美子 議員
を当選人としました。

■ 海部地区水防事務組合 議会議員(議会議長)

加藤敏彦 議員
山岡幹雄 議員
を当選人としました。

■ 海部地区水防事務組合 議会議員(市長推薦)

石河靖雄 氏
を当選人としました。



竹村 仁司 議員

うつ病・自殺防止対策を

質問
 昨年の精神疾患の患者数は、市におけるうつ病防止対策の担当課と取り組みは。

市民生活部長

精神疾患の患者数は、平成22年3月31日現在540人、23年3月31日現在572人、24年3月31日現在で661人という推移である。そのうち、うつ病関連の患者数は、197人となる。

うつ病の予防対策、取り組みは、健康推進課で担当しており、平成19年から、健康日本21計画を策定し、「まごころ・休養」を健康課題の一つとし

て取り組んでいる。その中で、心の健康に関する知識の普及として、広報掲載、リーフレット配布や健康まつり、講座の開催をしている。

質問

昨年の自殺者数は、市の自殺防止対策の担当課と取り組みは。

市民生活部長

市の自殺者数は、21年11人、22年8人、23年は14人だった。自殺防止対策の担当課も健康推進課である。ただし、自殺の原因は、健康であったり、

経済・生活であったり、家庭の問題であったり、学校の問題などさまざまだ。市では、それぞれの担当課でも市民の相談に対応している。

自殺対策の取り組みについては、自殺予防街頭キャンペーンを年2回、今回新たに、自殺予防や心の健康づくりや市の相談窓口に対する普及啓発ということを目的に、リーフレットを作成した。

質問

うつ病対策、自殺防止対策に踏み込んだ取り組みとして、内閣府自殺対策推進室が進める地域自殺対策緊急強化事業の補助対象となつている「こころの体温計」を市のホームページに導入してはどうか。

市民生活部長

先進事例を参考にし、また実際に活用している自治体からの情報も収集して、検討していく。

歴史文化資料の保存は

質問

市として、歴史的・文化的重要な資料の分類管理の担当課と取り組み、災害時における重要資料の保管場所の考えは。

教育部長

担当課は、教育委員会の社会教育課が事務を担当している。災害時等の緊急時には、保有する場所から移すことは容易でないため、現施設において保管をしていく。

質問

歴史文化資料室を一元化する考えは。

教育部長

歴史文化資料の管理一元化は、管理体制上、非常に重要なことと考えている。



織田信長が勝幡城で生まれたことを記す「尾州古城志」

勝幡駅周辺整備事業

質問

勝幡駅周辺整備事業が平成24年度から駅の北側から始まり、ロータリー、地下道、トイレ、あずまやなど、工事が徐々に出来上がっているが、現時点の進捗状況と、また、25年度の工事予定は。

経済建設部長

駅北側は、地下道の横断道の延伸、ロータリー工事とその取り付け道路、街路工事、広場などの土木工事とモニュメントの関係。そして、建築工事においては、トイレ、あずまやで、シエルターについては、新しく駅舎の建設を名

鉄側から聞いているので、その工事の関係から、来年度に

施工を考えている。駅北側については、一部を残し、24年度で完了の予定。進捗率については、本年度までの予定で約80%。

25年度の工事予定の関係は、駅南側の交通広場全体と、駅北側のシエルター、そして

駅南側の駅舎設置を鉄道事業者へお願いしている。平成25年度においては、勝幡駅周辺整備事業はすべて完了する予定。

質問

昨年6月議会でバスがロー

タリーを回ってまた戻るといふ返答だったが、その後の検討は。

経済建設部長

現地を確認し、1号線に出られるかバスの軌跡を確認した結果、交通規制がかかっており、左折のみだが、可能であると警察とも確認した。また、ピアゴの北の規制は、警察と協議をしてマイクロバスが通れるよう規制解除をお願いし、8月ぐらいから開放できるよう、確認している。



近藤 健一 議員



整備された勝幡駅前

地域要望の達成率は

質問

地域要望は、市民には一番身近で、一番行なってほしいことだ。平成24年度も同じくらいできるか。また年度別の施工率は。

経済建設部長

地域内側溝、舗装工事は要望箇所を現地確認をして、予算の範囲内で施工を行なう。予算ベースでは、24年度、25年度同じように、前年並みの工事を予定している。施工率は、23年度、側溝工事は32.7%、23年度舗装工事は30%、24年度は年度途中で確定ではないが、側溝工事は32.8%、舗装工事は26.4%の予定だ。

その他の質問

市の巡回バスの運行について



榎本雅夫 議員

通学路の危険個所の安全対策は

質問

昨年、通学路での交通事故が連続して起きたことを受け、文部科学省、国土交通省、警察庁が連携して対応を検討し、緊急合同点検を実施するようになった。

市の点検の実施状況は。

教育部長

全小学校から調査報告を受けた通学路の危険個所は、91カ所。学校教育課と建設課で現地調査を実施し、関係機関で、どのような安全対策を講じることができるか協議している。現地調査では、道路幅員、車道と歩道の区別、交

通量、見通しがよいかどうかなどを確認した。

学校より提出された危険個所の中には、物理的対策が困難な個所もあるが、注意喚起の看板の設置や、見守りなどによる安全確保も有効な方法であると考えている。

経済建設部長

要望個所の全てを確認しており、社会資本整備交付金事業を活用し、



佐屋西小学校の東・通学路

市道の路側帯などにカラー舗装をするなど、今後、優先順位の高い順に工事を施工していきたい。

質問

91カ所の場所とは。今後のカラー舗装の予定は。

経済建設部長

警察、愛知県の関係で18カ所。カラー舗装は、平成25年度で14カ所、5千664mで計画している。残りは26、27年度で計画したいと考えている。

公文書管理の取り組みは

質問

公文書管理法は、公文書を適正に管理することにより、行政を適正かつ効率的に運営し、将来にわたって国民に対する説明責任を果たすことを目的としている。

東日本大震災の教訓から大規模災害などから公文書をいかに守るか、自治体の重要な役割である。

公文書の保存、廃棄に関する基準と、行政ファイルなどの集中管理の状況は。

総務部長

保存は永年保存、10年、5年、3年、1年、1年未満で事務処理を行っている。廃棄は、焼却、裁断、消去により適切な対応をとっている。現在、集中管理を行っていない。公文書公開請求などの事務手続きも必要になるので、即対応できるように一元管理ができる文書管理システムを、25年度から導入したいと考えている。

質問

スペースを利用して公文書室を設置してはどうか。

総務部長

現状は4庁舎の既存の書庫を利用している。統合庁舎の建設を進めていく中で、文書保存を適切に管理していくことを念頭において、調整していきたい。

その他の質問

小型家電リサイクル法(4月施行)の取り組みは

市長の二期8年の感想は

質問

平成17年4月に市が誕生し、初代市長として二期8年務められ、大変お疲れさまでした。その8年間、市長を務めた感想と次期市長に対する期待は。

市長

二期8年の感想は、過ぎればどんなことでもそうかもしれないが、あつと期間だった。同時に、合併の時点で、合併は終着ではなくスタートだと感じた。お互い尊重をしながら、互譲の精神でスタートした。いろいろな事務事業は持ち越すものは持ち越して、それぞれの地域をその内容でもって、まず整備をさせてもらった。難題などもあったが、こ



山岡 幹雄 議員



愛西市長
二期8年間
お疲れさまでした。

質問

県が障害者などの福祉医療に一部負担金導入案という報道がされた。県は、第5次行革大綱に、平成22年度に重点

改革プログラムを策定し、22年度から26年度までの5年間に、計画期間として、163項目

の取り組みを入れている。障害者などの福祉医療制度の見

直しと、県単独市町村補助金の統合についての対応は、どのようにするのか。

企画部長

県の単独市町村補助金の統合の改革内容については2点

愛知県行革大綱への対応は

あり、既存の個別補助金内での補助メニューを統合するこ

と、環境、防災、福祉などの分野別での補助金の統合により、市町村の利便性を高めるための見直しを検討することになっている。

市民生活部長

26年度新制度開始のめどとして、第一に受益者負担の考えを取り入れるということ、第二に受益負担の考えを取り入れ、所得制限を導入するという案がある。この見直しの素案は、今後の協議をするための素案であって、今後、市町村や医師会などと慎重に協議し、取りまとめる。市の対応としては、その結果を踏まえて考えていく。

その他の質問

今までの一般質問に対する検証



下村 一郎 議員

市政の主人公は市民という立場で

質問

「市民主役」の市政実現についてたずねる。

市政の主人公は、議員でもなく、市役所でもない。市民である。

地方自治法には、予算も制度も全て「住民の福祉の増進を図る」とことごとく定めている。

市は、まちづくり市民会議で公募委員だけの委員会を設置した。理由は。

市長

まちづくり市民会議は、公約だった。

質問

公募したが委員がそろわない場合もあるとのことだが、実態は。

企画部長

市民の行政への参加意欲を今後どのように啓発していくかが、課題だ。

質問

情報の発信、市・議会など関係者が協力しあって市政に関心を持ってもらう取り組みが必要だ。考えは。

総務部長

より一層市民のみなさんに対して情報を発信していく。いかに関心を持っていただくか課題である。

質問

市や議会などが、市民に対し、直接対話をする必要がある。市民との懇談会はあるか。

総務部長

出前講座的なものはやっているが、市の行政懇談会として、計画を持ってやったというものはない。

質問

予算が決まったら、その予算についての説明をして、質問や意見を伺うような懇談会を行っては。

総務部長

そういった要望があれば、出前講座の中で応えていきたい。

質問

庁舎検討委員会の答申後、情報発信が一転して静かになった。

市の事務所の形を変える重要なことであり、史上最大の予算を使う増築について、本来は情報を出すべきだった。しかし、発信が弱かった。見解は。

総務部長

総務部長

市としてやってきたつもりだ。情報発信が弱いというならば、そういう面もあった。今後の教訓とする。

質問

鳥取市は中学校区ごとに説明会を行ったが、愛西市は、説明会を開かない。

市が今後「市民主役」との姿勢で行くのならば、市民に

説明し、意見を聞く方向に向かうべきだ。見解は。

総務部長

市民を無視してきたつもりはない。庁舎問題については、最善を尽くして情報発信する。



一般質問の進捗状況と分析

質問

平成22年9月ふるさと納税、12月防災行政の質問のその後は。また、税に関する西尾張地方税滞納整理機構から習得したことは。

23年3月外部監査制度の導入、各種団体への補助金の精査、6月地方防災の現状と啓発の質問をしたが、現状は。12月斎場の変更手続きが適正かたがだが、書類上きちんとされているのか。永和出張所の取り扱い、コミュニティに対する温度差はないか。24年3月都市計画と改革大



大野 則男 議員

綱の整合性、6月愛西市の農業をどう守るのか。9月都市計画の重要性、自主財源を強くする重要性、12月総合計画が計画通り適正に行われているかと質問した。計画の推移は。10年後の財政見通しは。

総務部長

(所管項目から)

防災行政では、高齢者に対する家具等の転倒防止、要援護者に対する見守りネットワークで登録名簿の整備を行い、福祉避難所として民間18施設、公共13施設を指定した。

緊急情報伝達システム、防災メールを実施し、防災行政無線が25年度整備、25年4月からコミュニティFMが災害時の情報手段として開始される。

地域にあった防災マップの必要性はあり、県の補助事業で「みずから守るプログラム」を紹介し、大野町で実施している。これはひとつのモデル的な地区として、防災意識の啓発を図ってもらうためには必要な取り組みであり、今後

もPRしていきたい。

地域防災計画は、25年6月ごろ自治体単位での被害想定がされる。それを踏まえて見直していく。

西尾張地方税滞納整理機構の成果は、担当職員相互の協力体制、滞納整理に対する知識の習得、徴収技術の向上が図られた。

永和出張所の廃止は現時点では変わらない。その中で代替案の方向付けをしていく。

企画部長

ふるさと納税で市外の方からの寄付は、23年度3名、24年1名で総額3千115万円。コミュニティ活動は、各地域で特色を持って自主運営をされている。

総合計画は、生活課題に対して有効であるか評価し実施している。

10年後の財政の見通しだが、常に10年後の見通しを立てていくのが重要である。

市民生活部長

総合斎苑の工事の変更にかかる手続きは適正に処理を踏んできた。

経済建設部長

都市計画は将来構想という形で取り組んでいる。誘致計画は、4回のサポーター会議を開催し、企業誘致や法規制を指導、助言してもらっている。

勝幡駅周辺事業は、合併前の旧佐織町時代からの継続事業で取り組んでいる。永和駅周辺の整備は、津島市がやらないという内容で現時点は考えてはいない。



県の福祉医療有料化撤回を



加藤 敏彦 議員

質問

愛知県は、子ども、障害者、母子
父子家庭、75歳以上の寝たきり・認
知症の高齢者を対象に実施している
福祉医療制度(医療費無料制度)に、
患者負担と所得制限する素案を公表
した。平成25年度から定額負担、平
成28年度から所得制限する計画で、
子ども医療の通院の対象年齢拡大は
行なわないなど制度拡充に歯止めを
かけている。
県の福祉医療について、市の状況
と有料化の問題点と影響はどうか。
市の見解は。

市民生活部長

利用状況は、23年度で、子ども医
療費事業(中学3年まで)で、年間平
均受給者数1万203人、母子父子家庭
医療事業で863人、障害者医療事業で
995人、後期高齢者福祉医療給付事業
で1千385人。

影響額は、素案の段階な
で出しかねる。事務の増大が
考えられる。

制度が変わって自己負担が導
入されれば、窓口負担につい
て、立て替え払もあるうかと
思う。市として、見直しによっ
て、自治体の財政負担や格差
が起らないよう県に要望
する。

質問

県は、12年度に負担金を導
入したが、全市町村が負担金
導入を見送ったことから、13
年度に廃止した。
ぜひ弱い立場の人たちの医
療を守っていく立場で頑っ
てほしいが。

市長

今後の動向については、県
下、あるいは近隣の状況を踏
まえながら判断すべきと思
う。

巡回バスの見直し、25年度中に

質問

巡回バスの運行について、
全面的に見直すかと答弁してき
たが、利用者からは、早く改
善してほしいという要望が出
ている。

市として、運行見直しにつ
いて、いつまでに行うのか。
バスの性格として福祉バス
として運行するのか。隣接す
る津島市や弥富市への乗り入
れを行うのか。利用の少ない
地域の対応をどうするのか。
これらの問題について、ど
のように検討されているか。

総務部長

3月中に、巡回バス運行検
討委員会で意見をまとめ、
市長に提言という形で提出
される。

運行見直しは、先延ばしで
きる問題ではないので、25年
度中にスケジュールを示す。
バスの性格づけについて
は、運行検討委員会でまと
めていきたい。市外への乗り入

れになると、関係自治体との
協議も行い、議決要件も必要
になってくる。



まちづくりの視点で医療費助成を

質問

1歳から18歳までの1年齢ごとの人口の推移、増減の差を調べてみると、1歳から6歳の就学前は、多くの子どもが、市に転入している。

これは、保育料が安いなど子育て支援、妊産婦・乳児支援が手厚い、市の施策の特徴が知られていて、市に転入して来ていると思われる。

逆に就学以降は増えていかない、高学年からマイナスの時もあることに対しては、中学生に対する支援を強めていくことが大事だと思つが。

市民生活部長

児童クラブの拡大や、全体的な中の施策を見ながら、方針や考え方を検討していく状況だ。

質問

子どもが大きくなるにつれて、一戸建てやマンションを購入するのが、ライフスタイルの一般的なパターンになっている。小・中学生の子育て世代に愛西市で定住をしてもらう。住宅建築で固定資産税などの税収の増にもなっていく。そうした点を考えると、

総務部長

中学卒業以上の子どももの医療費など、特に中学生、あるいはそれ以降の支援の必要性があるのではないか。

高齢者率が高い状況で、生産者人口の確保の問題が問われており、愛西市も同じだ。ソフト面の子ども医療も含めた対策の一方で、ハード面の就労機会の整備など、トータルな考え方を持って、まちづくりを捉えた施策を展開する必要がある。



放課後子ども教室拡大の計画を

質問

愛西市の場合は、児童館と児童クラブの併設が基本で、児童クラブは、児童の生活を見て利用料をとっている。一方で、遊びに来てはいる児童に関しては無料で別の遊びをする。その点で児童館は非常に運営に苦しむ。

佐織地区の草平地域などでは利用する可能性のある子どもが多くても、子ども教室が無いところもあり、放課後子ども教室の位置づけをしっかりとしながら、計画を持って、子ども教室を拡大する必要があるのではないか。

教育部長

今の運営自体も見直しを進めつつ、今後開設していないところについても何らかのアクションを起こせたらと考えている。

質問

市として、子どもの放課後の過ごし方に対して、しっかりと考え方を持って育成をしていかなければいけない。

放課後どのように過ごすのか調査を計画してみてもどうか。

教育部長

ニーズの調査も必要だし、保護者の考え、子どもの様子などについて、地区に限ったアンケートや、対象を限ったアンケートなど実施できたらと思つている。



真野 和久 議員



吉川三津子 議員

雀ヶ森処分場、廃止とヒ素問題は

市民生活部長

業者から排水基準と比較した報告を受けていた。本来は、環境基準と比較すべきだった。

質問

業者に対して、賠償請求などの措置をすべきだ。処分場を廃止できない理由は何か。

市民生活部長

法律上、処分場の底辺部に汚水のための集水管がなければ廃止できない。

集水管を入れる計画になっていたが、当時の書類や写真、関係者の話から確認した中で、集水管の布設はされていないと判断した。

質問

ゴミを撤去するといくらぐらいかかるのか。環境調査に毎年100万円かかっており、早期に解決すべきだが、そのめどは。

市民生活部長

積算に努めている。

できるだけ速やかに進める。



平成9年10月ごろの雀ヶ森処分場の違法状況

質問

東浦町では、人口水増しで刑事事件にまで広がっている。桑名市では、前市長に近い関係業者との契約が問題になった。

議員にはない予算編成権や契約などの決裁権を、市長をはじめとした幹部職員らは持っている。議員以上に、市長などの倫理は重要である。市長らの倫理条例の制定は。

総務部長

検討課題のひとつである。

その他の質問

公有財産を残土施設に貸すのは問題だ(東保町)

質問

平成9年、県に処分場建設の届け出をしたが、計画通りに造らず「ゴミの投棄保管を続けた。11年に県は「計画通り設置せよ」と村に通知書を送付。12年に村長名で「改善する」と報告しているが、法に合致した処分場でない可能性が高く、廃止できない状況だ。この問題を質問し、2年になる。経過を伺う。

市民生活部長

22年12月議会で、「ゴミの全量撤去か、届出通りの施設を造るかで解決を考えると答弁

した。

その後、県に相談し、「ゴミ質のボーリング調査をした。24年9月の県調査で観測井戸から基準の8倍のヒ素が検出されたことを受け、市としても調査を実施した。

質問

14年以降、ヒ素が環境基準をオーバーしている。その都度再調査をしていたということとは、市は環境基準超えを認識したはず。対処してこなかった理由は何か。

初挑戦!

「議会だより」について語るう会」 市民と交流

去る2月24日に市文化会館で行われた「議会だより
について語るう会」（議会広報特別委員会主催）は、休
日にもかかわらず、21名の市民の方に参加いただき、

委員と有意義な意見交換ができました。
その時、いただいた意見をまとめました。

◎議会として市民に対し、今一番伝えなければならな
いのは何かを視点にしてほしい。特集や審議過程、
決議を明確にし、特に委員会審議の内容が重要では
ないのか。

ものを、これを機会に他の委員会もやってほしい。
行政もやってほしい。

◎議員の活動が明確に伝わるように、発言内容と議員
名、賛否と議員名を明確にしてほしい。

◎表紙の写真はいらわない
のではないか。タブロ
イド判でもいいと思
う。

◎一般質問の「聞きっ放し、言いっ放し」でなくその後
の検証もしてほしい。

◎あまり読まない。面白
くない。「コミュニテ
ィFMとか議会報告会の
実施とか、見てもらう
努力をしてほしい。

◎条例や採決の結果が、市民にどんな影響があるか
もっとわかりやすく載せてほしい。

◎用語や表現が難しい。
子ども版などを作って
若い層への発信を考え
てはどうか。

◎議員ごとの賛否が重要。今回(12月議会)から特集が
あった。とてもよくわかる。大きな問題や流れのあ
る問題は特集してほしい。

◎情報をありのままに、早く伝えてほしい。市民が聞
きたい事、声に応じて、それを返す。今回のような



今後、議会広報特別委員会として、皆さんの意見を
参考に議会だよりの改善に取り組んでいきます。

今回、「議員の議案への賛否」を掲載しました。

おめでとう ございます

平成25年2月1日に行われ
た、愛知県市議会議長会定期
総会において、平成22年5月
7日から平成24年5月9日ま
での当市議会の議長を務めた
大宮吉満議員と副議長を務め
た大島功議員が、地方自治の
発展に対する功績が認めら
れ、愛知県市議会議長会から
感謝状が贈呈されました。



大島 功 議員



大宮吉満 議員

議会活動日誌

25年 2月	
1日	愛知県市議会議長会定期総会
4日	庁舎建設等調査特別委員会
7~8日	議会運営委員会行政視察(兵庫県加西市・西脇市)
12日	海部南部水道企業団議会定例会
13日	第134回地方行政委員会(東京都)
14日	議員研修会
15日	海部南部水道企業団(工務委員会・総務委員会)
18日	海部地区急病診療所組合議会定例会
	全国高速自動車道市議会協議会定期総会(東京都)
19日	海部地区水防事務組合議会定例会
	議会運営委員会
	議会活性化協議会
21日	海部地区環境事務組合議会定例会
24日	「議会だより」について語ろう会
26日	3月議会定例会(3月22日まで)
	全員協議会

25年 3月	
4日	海部南部水道企業団議会定例会
11日	議会活性化協議会
13日	総務委員会
14日	文教福祉委員会
15日	経済建設委員会
22日	議会運営委員会
	全員協議会
	広報特別委員会
25日	海部地区環境事務組合議会臨時会
27日	西保地区防災コミュニティセンター竣工式
25年 4月	
4日	海部地区水防事務組合議会臨時会
	広報特別委員会
10日	広報特別委員会
16日	広報特別委員会
18日	東海市議会議長会定期総会
28日	市長選挙・市議会議員補欠選挙

平成25年6月定例会の開催日程 (予定)

6月定例会は、

6月10日(月)から6月28日(金)

までの会期で開催予定です。

- 本会議は午前10時から開催します。
- 日程は変更になる場合もありますのでご了承ください。
- 詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

6月10日(月)	本会議(第1日)
6月17日(月)	本会議(第2日)議案質疑
6月18日(火)	一般質問
6月19日(水)	一般質問
6月20日(木)	予備日(一般質問)
6月21日(金)	総務委員会
6月24日(月)	文教福祉委員会
6月25日(火)	経済建設委員会
6月28日(金)	本会議(最終日)討論・表決

編集後記

すでに東日本大震災から2年が経ちました。3月18日に内閣府が駿河湾から九州沖に南海トラフ巨大地震が発生した場合に経済被害が220兆円、愛知県の避難者は4人に1人、この地域では液状化による断水や停電、道路の閉塞率が20%を超え交通渋滞が予想されると発表がありました。いつ大地震に遭遇しても、冷静に自分と家族の安全を守るために日頃から地震に対する備えをしてください。

私たちは、わかりやすい「議会だより」の広報づくりに取り組んでいます、皆様のご意見やご感想をお待ちしております。

(山岡記)

委員長
副委員長
委員

真野 和久
竹村 仁司
山岡 幹雄
大野 則男
島田 浩
吉川三津子